

海外からの携行品の豚肉製品から「**アフリカ豚コレラウイルス**」が多数見つかっています！

・昨秋以降、海外からの旅客の持ち物（ソーセージ等）からアフリカ豚コレラウイルスが見つかっており、ウイルスが国内に侵入する危険性が非常に高まっています。（平成31年4月現在18件摘発！！）

岐阜県や愛知県で続発している「豚コレラ」も海外から持ち込まれた豚肉製品が原因である可能性が指摘されています。

～発生予防のポイント～

①中国などの**発生国から持ち込まれた肉製品や加熱が不十分な肉製品は絶対に飼料として与えない！**（肉製品を与える場合は、必ず70℃・30分以上または80℃・3分以上加熱処理する！）



②**海外への渡航を自粛！**海外から来た人や物は衛生管理区域に入れない！

③電気柵などの設置により**野生イノシシとの接触を防ぎ**、農場出入り時の消毒を徹底

	アフリカ豚コレラ	豚コレラ
病原体	アフリカ豚コレラウイルス	豚コレラウイルス
症状	裏面参照	
感染経路	・感染した野生イノシシや飼養豚との接触 ・汚染された飼料の摂食等により感染	
発生状況	・国内での発生なし ・H30.8月にアジア地域では中国で初めて発生 (現在は中国全域に感染拡大)	・H30.9月に国内で26年ぶりに発生 ・アジア、ヨーロッパ等で継続的に発生

飼養している豚やイノシシに異常があれば、**すぐに**当所まで連絡をお願いします！

京都府中丹家畜保健衛生所
TEL 0773-25-1860
FAX 0773-25-1861
(休日・夜間は転送されます)

(裏面に続きます。)

豚コレラ・アフリカ豚コレラの侵入防止対策を徹底しましょう!

本年9月、日本において26年振りに豚コレラが発生しました。近隣国では、豚コレラ及びアフリカ豚コレラの発生が継続しており、侵入リスクが高い状況が続いています。

衛生管理を徹底しましょう!



関係者以外の農場への立入を禁止



農場(畜舎)に出入りする際には、消毒を実施



飼料に生肉を含む又は含む可能性がある場合は、十分に加熱処理

豚コレラ

2018年9月以降
日本で発生

特徴的な症状が無く、気がつきにくい疾病です!

発熱、食欲不振、元気消失等、うずくまり、便秘に続く下痢、呼吸障害等
異状を発見したら直ちに通報しましょう!



耳翼の紫斑



元気がない



結膜炎

写真出典:岐阜県

重症例は後躯麻痺・運動失調・四肢の激しい痙縮などの神経症状、皮下出血による紫斑(耳翼、尾、腹部、内股部)を呈し死亡。

アフリカ豚コレラ

2018年8月以降
中国で発生継続

病状は多岐に渡り、甚急性では突然死亡、急性では発熱が見られます。

異状を発見したら直ちに通報しましょう!



死亡



チアノーゼ

病状は多岐に渡り、甚急性、急性、亜急性、慢性の症状を示す。甚急性では突然死亡、急性では発熱(40~42℃)、皮下出血、脾臓の腫大、粘血便、チアノーゼ等を呈し、死亡率は100%に近い。

写真出典:国立研究開発法人農業食品産業技術総合研究機構動物衛生研究部門

詳細情報はこちら(農林水産省HP)

豚コレラについて:



アフリカ豚コレラについて:

